



LTE/3G 通信モジュール内蔵無線 LAN ルーター

MR-GM3

サンプル config マニュアル

V1.00.00

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| サンプル config についての説明 | 3 |
| LAN ポート IP アドレス、DHCP サーバー設定 | 5 |
| Wifi の事前共有鍵変更、確認方法 | 8 |
| ステルス SSID 設定 | 10 |
| WAN 側から設定画面へのログオン、PING 応答をかえす方法 | 12 |
| サーバー公開（DMZ の説明含む） | 15 |
| WEB ポート | 18 |
| ユニバーサルリピーター機能・2 台分の設定 | 20 |

サンプル config についての説明

作成 FW バージョン : v1.04.03

※これらの config はそれぞれ記載の設定を確認するためのものになります。

そのため、読み込むと説明の設定以外は初期値となりますのでお気をつけください。

※こちらの config は「MR-GM3」シリーズ用です。「MR-GM3L」シリーズでは使用できません。

設定画面へのログイン方法を説明します。

URL 欄に LAN 側 IP アドレスを入力してください。(初期値は 192.168.0.1)



ブラウザによって多少変化しますが、サインインするための認証ウィンドウが開きますので、ユーザー名、パスワードを入力してください。(初期値はユーザー名 : admin パスワード : passwd)

設定変更後の設定反映手順を説明します。

「設定保存」ボタンを押すと下記画面になります。

設定は正常に保存されました。

変更を動作に反映させるためには、プロセスを再起動する必要があります。

今すぐ再起動を行いますか？

他の設定を行った後、再起動を行いますか？

今すぐ再起動

後で再起動

すぐに設定反映したい場合は「今すぐ再起動」、他の設定も行う場合は「後で再起動」を押してください。

LAN ポート IP アドレス、DHCP サーバー設定

・Sample001dat

※LAN 側 IP アドレスを変更した状態で設定保存ボタンをクリックすると即再起動が始まってしまいます。

付与 IP アドレス範囲も変更してから設定保存ボタンを押すようにしてください

初期値

LAN 側 IP アドレス : 192.168.0.1

付与 IP アドレス範囲 : 先頭 192.168.0.2 終了 192.168.0.20

変更後

LAN 側 IP アドレス : 192.168.100.1

付与 IP アドレス範囲 : 先頭 192.168.100.2 終了 192.168.100.30

変更手順

設定画面へログイン方法

URL 欄に LAN 側 IP アドレスを入力してください。(初期値は 192.168.0.1)

ネットワーク設定を開いて、LAN 設定をクリックしてください。



こちらが初期値になります。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

| | |
|---------------|--|
| 本機のLAN側IPアドレス | <input type="text" value="192.168.0.1"/> |
| サブネットマスク | <input type="text" value="255.255.255.0"/> |

DHCPサーバー設定

| | |
|------------|--|
| DHCPサーバー | <input type="button" value="有効"/> |
| 付与IPアドレス範囲 | 先頭 <input type="text" value="192.168.0.2"/> |
| | 終了 <input type="text" value="192.168.0.30"/> |
| | <input type="button" value="クライアント表示"/> |
| | <input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/> |
| リース期限 | <input type="text" value="8"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分 (1分 - 168時間) |
| ドメイン名 | <input type="text"/> |

※IPアドレスを変更して「設定保存」ボタンをクリックした場合、本機が即再起動を行います。

こちらが変更後の値になります。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

| | |
|---------------|--|
| 本機のLAN側IPアドレス | <input type="text" value="192.168.100.1"/> |
| サブネットマスク | <input type="text" value="255.255.255.0"/> |

DHCPサーバー設定

| | |
|------------|--|
| DHCPサーバー | <input type="button" value="有効"/> |
| 付与IPアドレス範囲 | 先頭 <input type="text" value="192.168.100.2"/> |
| | 終了 <input type="text" value="192.168.100.30"/> |
| | <input type="button" value="クライアント表示"/> |
| | <input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/> |
| リース期限 | <input type="text" value="8"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分 (1分 - 168時間) |
| ドメイン名 | <input type="text"/> |

※IPアドレスを変更して「設定保存」ボタンをクリックした場合、本機が即再起動を行います。

本機の LAN 側 IP アドレス : 192.168.100.1

付与 IP アドレス範囲 : 先頭 192.168.100.2 終了 192.168.100.30

と変更後に「設定保存」ボタンを押してください。

※この設定を行う時、本機の LAN 側 IP アドレスを変更した状態で「設定保存」ボタンを押すと
即時再起動が行われますのでご注意ください。

本機の LAN 側 IP アドレス、付与 IP アドレス範囲の両方を変更後に「設定保存」ボタンを押すことを
おすすめいたします。

Wifi の事前共有鍵変更、確認方法

•Sample002.dat

初期値

無線 LAN1(5GHz)

SSID : MR-GM3 5G 事前共有鍵 : ランダム生成

変更後

無線 LAN1(5GHz)

SSID : MR-GM3 5G 事前共有鍵 : mrltest1234

※ファームウェア v1.04.02 以降から wifi の初期事前共有鍵(パスワード)はランダム生成となります。
そのため有線接続で設定画面へログインしていただく以外に wifi の事前共有鍵を確認する方法はございません。

変更、確認手順

MR-GM3 の ETH0 ポートとパソコンの LAN ケーブルを接続してください。

ブラウザを起動して URL 欄に LAN 側 IP アドレスを入力してください。

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「無線 LAN 設定」 — 「無線 LAN1(5GHz)」 — 「セキュリティ設定」とクリックしてください。



無線 LAN1(5GHz) セキュリティ設定ページが開きます。

無線LAN1 セキュリティ設定

無線LANのセキュリティ設定を行います。

| | | |
|--------------|---|------|
| 設定を行うSSID | プライマリSSID - MR-GM3 5G ▼ | 設定保存 |
| 暗号モード | WPA-Mixed ▼ | |
| WPA暗号化方式 | <input checked="" type="checkbox"/> TKIP <input type="checkbox"/> AES | |
| WPA2暗号化方式 | <input type="checkbox"/> TKIP <input checked="" type="checkbox"/> AES | |
| 事前共有鍵 フォーマット | 文字列 (ASCII) で設定 (半角英数8~63文字) ▼ | |
| 事前共有鍵 | mrltest1234 | |

赤枠で囲まれた部分が SSID、事前共有鍵になります。

今回は設定例として「mrltest1234」に変更した場合になります

事前共有鍵を入力して設定を行う SSID の右側にある「設定保存」を押してください。

「設定は正常に反映されました」ページに切り替わります。

「今すぐ再起動」「後で再起動」を選択して押してください。

無線 LAN2 の wifi 事前共有鍵の確認、設定変更方法は無線 LAN1 の確認、設定変更方法と同じなのでこちらの設定方法を参考に行ってください。

ステルス SSID 設定

•Sample003.dat

初期値：ブロードキャスト SSID 有効

変更値：ブロードキャスト SSID 無効

※ブロードキャスト SSID を無効にすることで周囲の端末で SSID を確認することはできなくなります。

しかし、あくまで周囲に知らせないだけなので手動での SSID 指定や以前の接続情報からはの接続を防ぐことはできません。

※ブロードキャスト SSID を無効にした場合、WPS は動作しません。

変更、確認手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「無線 LAN 設定」―「無線 LAN1(5GHz)」―「基本設定」とクリックしてください。



無線 LAN1(5GHz) 基本設定ページが開きます。

無線LAN1 基本設定

無線LANの基本設定（周波数、プライマリSSID、チャンネル設定など）を行います。

☐ 無線LANを無効にする

周波数 5 GHz (A+N+AC) ▼

無線LAN 動作モード アクセスポイント ▼

マルチSSID設定

SSID MR-GM3 5G

チャンネル幅 80MHz ▼

拡張チャンネル 自動 ▼

☐ チャンネル自動選択で屋外モードを有効にする

チャンネル番号 自動(DFS) ▼

ブロードキャストSSID 無効 ▼

帯域（伝送速度） 自動 ▼

送信帯域制限 0 Mbps (0:帯域制限なし)

受信帯域制限 0 Mbps (0:帯域制限なし)

接続中クライアント 表示

☐ ユニバーサルリピーター機能を有効にする

リピータSSID MR-GM3 RPT0

設定保存

ブロードキャスト SSID を「無効」にしてください。

※ブロードキャスト SSID を無効にしても SSID 自体は有効なので手動で SSID を指定した場合や以前接続した情報が残っている端末からは普通にアクセスすることはできます。

「設定保存」を押してください。

「設定は正常に反映されました」ページに切り替わります。

「今すぐ再起動」「後で再起動」を選択して押してください。

無線 LAN2(2.4GHz)も設定方法は同様です。

WAN 側から設定画面へのログオン、PING 応答を返す方法

•Sample004.dat

初期設定：WAN 側からの設定画面へのログオン無効

WAN 側からの PING 応答無効

変更後：WAN 側からの設定画面へのログオン有効

WAN 側からの PING 応答有効

※グローバル IP アドレスを取得できる SIM・回線が必須となります。

※WAN 側から設定画面へのログインを許可する場合、必ずログイン情報を変更してください。

ログイン情報は「マネージメント」内「ユーザー・パスワード設定」から変更可能です。

変更手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「ファイアウォール設定」内「IP フィルタリング設定」とクリックしてください。



IP フィルタリング設定画面が開きます。

☒ IPフィルタリング機能を有効にする

送信元IPアドレス/マスク / (1~32)

宛先IPアドレス/マスク / (1~32)

プロトコル TCP ▼

送信元ポート - (0~65535)

宛先ポート 80 - 80 (0~65535)

送信元インターフェース WAN ▼

宛先インターフェース 自機 ▼

フィルタ動作 透過 ▼

コメント (半角英数字20文字以内)

リストへ登録・設定保存

「IP フィルタリング機能を有効にする」にチェックを入れてから

プロトコル：TCP

宛先ポート：80-80（初期値の場合、Web ポートを変更している場合はそちらに合わせてください）

送信元インターフェース：WAN

宛先インターフェース：自機

フィルタ動作：透過

これらを設定して「リストへ登録・設定保存」をクリックしてください。

IPフィルタリング 登録リスト（64エン트리まで登録可能）

| 送信元IP/マスク | 宛先IP/マスク | プロトコル | 送信元ポート | 宛先ポート | 送信元I/F | 宛先I/F | フィルタ動作 | コメント | 選択 |
|-------------|----------|----------------|--------|----------------|--------|-------|--------|------|--------------------------|
| any | any | TCP | any | 80 - 80 | WAN | 自機 | 透過 | | <input type="checkbox"/> |
| 選択したエントリを編集 | | 選択したエントリを一つ上げる | | 選択したエントリを一つ下げる | | | | | |
| 選択したエントリを削除 | | 全て削除 | | | | | | | |

IP フィルタリング登録リストにこのように登録されます。

これで WAN 側から設定画面へのログオン設定は終了です。

次に WAN 側からの PING に応答をかえす設定です。

IP フィルタリング設定画面を開いてください。

☒ IPフィルタリング機能を有効にする

送信元IPアドレス/マスク / (1~32)

宛先IPアドレス/マスク / (1~32)

プロトコル

ICMP ▼

送信元ポート - (0~65535)

宛先ポート - (0~65535)

送信元インターフェース

WAN ▼

宛先インターフェース

自機 ▼

フィルタ動作

透過 ▼

コメント (半角英数字20文字以内)

リストへ登録・設定保存

「IP フィルタリング機能を有効にする」にチェックを入れてから、
プロトコル：ICMP
送信元インターフェース：WAN
宛先インターフェース：自機
フィルタ動作：透過
これらを設定して「リストへ登録・設定保存」を押してください。

IPフィルタリング 登録リスト (64エン트리まで登録可能)

| 送信元IP/マスク | 宛先IP/マスク | プロトコル | 送信元ポート | 宛先ポート | 送信元I/F | 宛先I/F | フィルタ動作 | コメント | 選択 |
|-------------|----------|----------------|--------|-------|----------------|-------|--------|------|--------------------------|
| any | any | ICMP | any | any | WAN | 自機 | 透過 | | <input type="checkbox"/> |
| 選択したエントリを編集 | | 選択したエントリを一つ上げる | | | 選択したエントリを一つ下げる | | | | |
| 選択したエントリを削除 | | 全て削除 | | | | | | | |

IP フィルタリング登録リストにこのように登録されます。
これで WAN 側からの PING に応答を返す設定は終了です。

サーバー公開（DMZ の説明含む）

・Sample005.dat

初期設定：WAN 側から LAN 内のサーバーへのアクセス不可

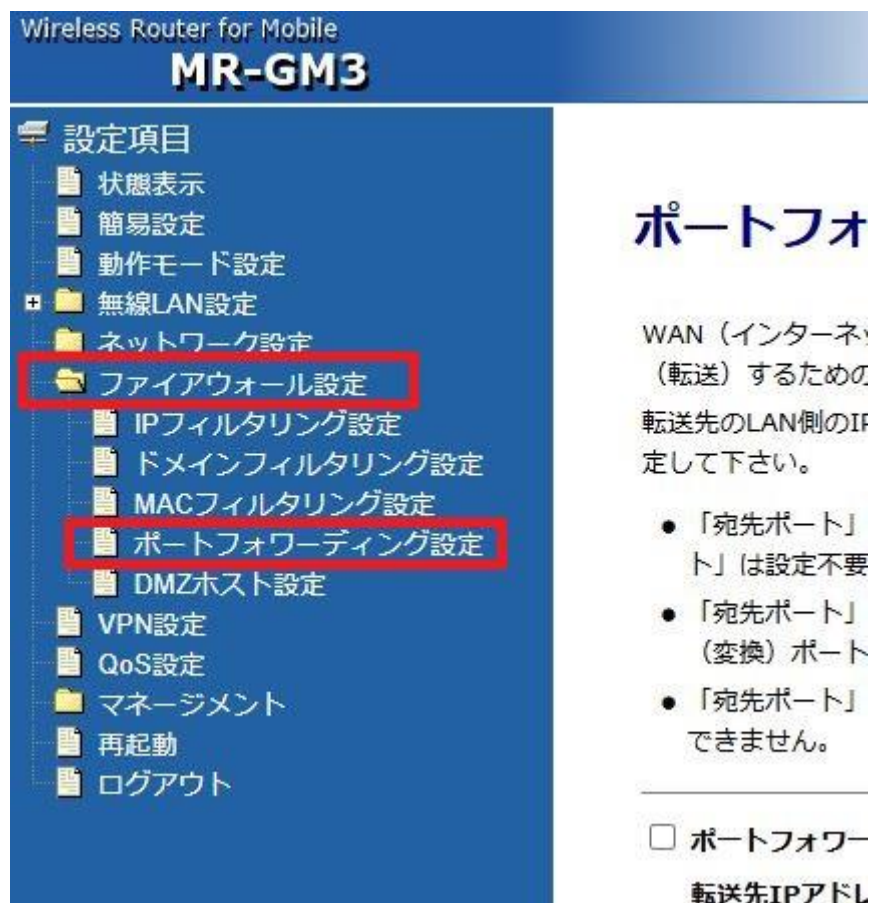
変更後：WAN 側から LAN 内のサーバーへのアクセス可

※グローバル IP アドレスを取得できる SIM・回線が必須となります。

変更手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「ファイアウォール設定」内「ポートフォワーディング設定」とクリックしてください。



Wireless Router for Mobile
MR-GM3

設定項目

- 状態表示
- 簡易設定
- 動作モード設定
- 無線LAN設定
- ネットワーク設定
- ファイアウォール設定**
 - IPフィルタリング設定
 - ドメインフィルタリング設定
 - MACフィルタリング設定
 - ポートフォワーディング設定**
 - DMZホスト設定
- VPN設定
- QoS設定
- マネージメント
- 再起動
- ログアウト

ポートフォ

WAN（インターネット）側から LAN 側のサーバーへ（転送）するための設定です。転送先の LAN 側の IP アドレスを指定して下さい。

- 「宛先ポート」は設定不要
- 「宛先ポート」は（変換）ポート
- 「宛先ポート」は指定できません。

☐ ポートフォワーディング設定
転送先IPアドレス

ポートフォワーディング設定画面が開きます。

☒ ポートフォワーディング機能を有効にする

転送先IPアドレス

プロトコル

宛先ポート範囲 先頭 - 終了 (1~65535)

転送先(変換)ポート (1~65535)

コメント (半角英数字20文字以内)

「ポートフォワーディング機能を有効にする」にチェックを入れてください。

今回の設定例：LAN 内にサーバーを建てる

「192.168.0.50:10081」と IP アドレス、ポート番号を設定する。

セキュリティのため転送先（変換）ポート設定を行い、WAN 側からアクセスするときにはポート番号 8080 を指定する必要がある設定にする。

取得するグローバル IP アドレスは 222.***.***.123

転送先 IP アドレス：「192.168.0.50」

プロトコル：「TCP」

宛先ポート範囲：先頭「8080」-終了「」

転送先（変換）ポート：「10081」

これらを入力後、「リストへ登録・設定保存」ボタンをクリックしてください。

※転送先（変換）ポート設定を行う場合は宛先ポート範囲は「先頭だけ」を設定してください。

ポートフォワーディング 登録リスト (64エン트리まで登録可能)

| 転送先IPアドレス | プロトコル | 宛先ポート範囲 | 転送先(変換)ポート | コメント | 選択 |
|--------------|-------|--|------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 192.168.0.50 | TCP | 8080 | 10081 | | <input type="checkbox"/> |
| | | <input type="button" value="選択したエントリを削除"/> | | <input type="button" value="全て削除"/> | |

このように登録されます。

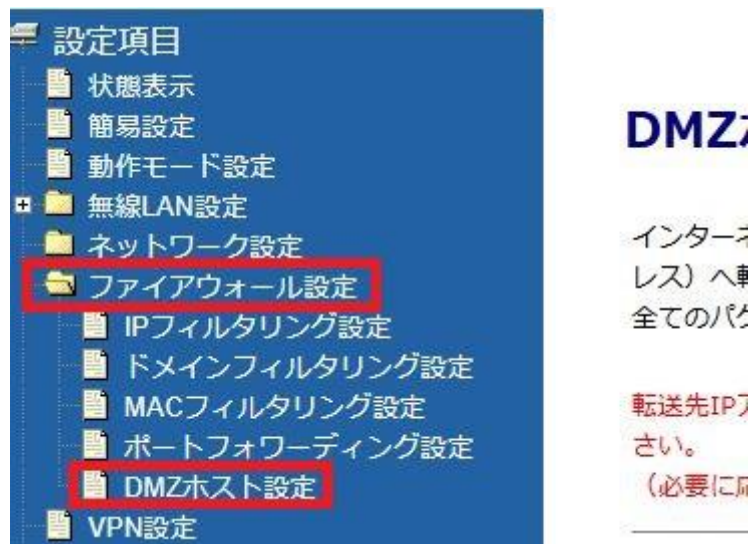
この状態でブラウザの URL 欄に「222.***.***.123:8080」と入力すれば WAN 側からサーバーへアクセス可能となります。

これでうまくアクセスできなかった場合は問題切り分けのため、「DMZ ホスト設定」を試してください。

設定手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「ファイアウォール設定」内「DMZ ホスト設定」とクリックしてください。



DMZ ホスト設定画面が開きます。

DMZホスト設定

インターネット側からWAN側IPアドレス宛の通信を、LAN側の1台の端末（IPアドレス）へ転送するための設定を行います。
全てのパケットが「転送先IPアドレス」へ転送されます。

転送先IPアドレスに設定した端末は、セキュリティが低下しますので、注意して下さい。
（必要に応じて、端末側でセキュリティ対策を行って下さい。）

☒ DMZホスト機能を有効にする

転送先IPアドレス

「DMZ ホスト機能を有効にする」にチェックを入れてください。

転送先 IP アドレス : 「192.168.0.50」

と入力して「設定保存」をクリックしてください。

DMZ ホスト機能で WAN 側からサーバーへアクセスできた場合、設定ミスが考えられます。

DMZ ホスト機能でもだめな場合は WAN 側からアクセスさせることはできない可能性があります。

WEB ポート

•Sample006.dat

初期設定 : 「80」

変更後 : 「8080」

※10080 はブラウザのセキュリティ対策のため古いブラウザでないとアクセスできなくなるため別の値を設定するようにしてください

変更手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「マネージメント」内「システム設定」をクリックしてください。

Wireless Router for Mobile
MR-GM3

設定項目

- 状態表示
- 簡易設定
- 動作モード設定
- 無線LAN設定
- ネットワーク設定
- ファイアウォール設定
- VPN設定
- QoS設定
- マネージメント
- システム設定
- 時刻情報・タイマー再起動設定

システム設定

装置全般の設定を行います。

装置名称

☐ リモートログに装置名称を表示する

装置アクセス

Webポート

システム設定画面が開きます。

システム設定

装置全般の設定を行います。

装置名称

☐ リモートログに装置名称を表示する

装置アクセス

Webポート

Web ポートを「8080」に変更してください。

変更後、設定保存ボタンを押してください。

「設定は正常に反映されました」ページに切り替わります。「今すぐ再起動」「後で再起動」を選択して押してください。

再起動後、設定画面へアクセスする際に LAN ポート IP アドレス+「:8080」がなければアクセスできないようになっていれば正常に設定変更は完了です。

ユニバーサルリピーター機能・2 台分の設定

•Sample007.dat•Sample008.dat

以下の環境を例に設定方法を説明します。

ユニバーサルリピーター（以降、A）SSID：MR-GM3_U 事前共有鍵：12345678 Sample007

アクセスポイント（以降、B）SSID：MRL_AP 事前共有鍵：12345678 Sample008

ユニバーサルリピーター機能を使用する無線 LAN ポート：無線 LAN1（5GHz）

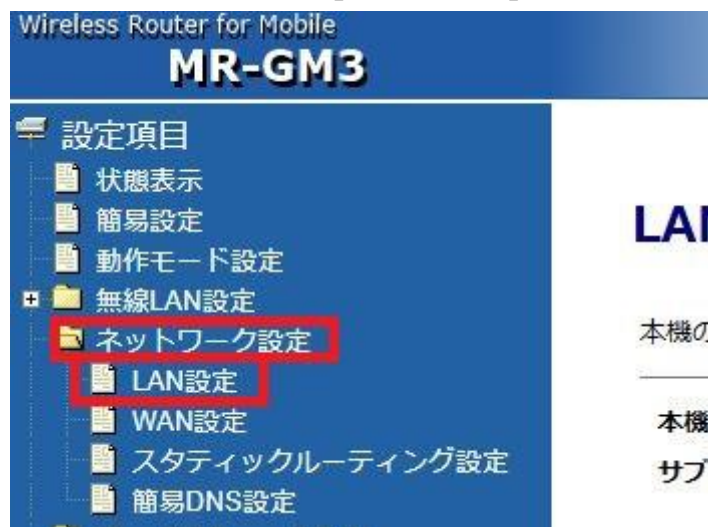


A 側の設定について説明します。

設定手順

設定画面へログインしてください。

ログイン後、「ネットワーク設定」内「LAN 設定」をクリックしてください。



LAN 設定画面が開きます。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

| | |
|-------------------------------------|--|
| 本機のLAN側IPアドレス | <input type="text" value="192.168.0.254"/> |
| サブネットマスク | <input type="text" value="255.255.255.0"/> |
| DHCPサーバー設定 | |
| DHCPサーバー | <input type="text" value="無効"/> |
| 付与IPアドレス範囲 | 先頭 <input type="text" value="192.168.0.2"/> |
| | 終了 <input type="text" value="192.168.0.30"/> |
| | <input type="button" value="クライアント表示"/> |
| | <input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/> |
| リース期限 | <input type="text" value="8"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分 (1分 - 168時間) |
| ドメイン名 | <input type="text"/> |
| <input type="button" value="設定保存"/> | |

本機の LAN 側 IP アドレス : 192.168.0.254

LAN 内の他の機器と重複しない IP アドレスを設定してください

DHCP サーバー : ユニバーサルピーターとして使用する場合、基本は無効にしてください。

設定が終わりましたら、「設定保存」ボタンをクリックしてください。

※LAN 側 IP アドレスを変更している場合は即時再起動が行われます。

※DHCP サーバーを無効にした場合は、パソコンの IP アドレスを手動で設定する必要があります。

この時点でルーターAの状態は

LAN 側 IP アドレス : 192.168.0.254

DHCP サーバー : 無効

再起動後、パソコンの IP アドレスを手動で設定の上、変更した LAN 側 IP アドレスで設定画面へログインを行ってください。

パソコンの IP アドレス設定例 (あくまでルーターの設定を確認するためのもの)

IPv4 アドレス : 192.168.0.100/24 (255.255.255.0)

デフォルトゲートウェイ : 192.168.0.254

DNS サーバー : 192.168.0.254

設定画面へログイン後、動作モード設定をクリックしてください。



動作モード設定画面が開きます。

動作モード設定

本機の動作モードを選択します。

- ☐ ルーター 本機をルーター＋無線LANアクセスポイントとして利用します。
- ☒ アクセスポイント
またはクライアント 本機のルーター機能を無効にし、無線LANアクセスポイントまたは無線LANクライアント（ブリッジ）として利用します。

設定保存

動作モード：「アクセスポイントまたはクライアント」

こちらを選択して「設定保存」ボタンをクリックしてください。即時再起動が行われます。

ルーターAの状態は

LANポートIPアドレス：192.168.0.254

DHCPサーバー：無効

動作モード：アクセスポイントまたはクライアント

という状態です。

設定画面へログイン後、「無線 LAN 設定」-「無線 LAN1(5GHz)」-「基本設定」をクリックしてください。



無線 LAN1 基本設定画面が開きます。

無線LAN1 基本設定

無線LANの基本設定（周波数、プライマリSSID、チャンネル設定など）を行います。

☐ 無線LANを無効にする

周波数 5 GHz (A+N+AC) ▼

無線LAN 動作モード アクセスポイント ▼

マルチSSID設定

SSID MR-GM3_U

無線 LAN 動作モード：「アクセスポイント」

SSID：「ルーターAのSSID」

接続中クライアント 表示

☒ ユニバーサルリピーター機能を有効にする

リピータSSID MRL_AP

設定保存

ユニバーサルリピーター機能を有効にする：「チェックボックスにチェックを入れる」

リピーターSSID：「ルーターBのSSID」

設定が終わりましたら、「設定保存」ボタンを押してください。

設定は正常に保存されましたページが表示されるので、「後で再起動」を押してください。

「無線 LAN 設定」―「無線 LAN1(5GHz)」―「セキュリティ設定」をクリックしてください。



「無線 LAN セキュリティ設定」画面が開きます。

無線LAN1 セキュリティ設定

無線LANのセキュリティ設定を行います。

| | | |
|--------------|---|------|
| 設定を行うSSID | プライマリSSID - MR-GM3_U ▼ | 設定保存 |
| 暗号モード | WPA-Mixed ▼ | |
| WPA暗号化方式 | <input checked="" type="checkbox"/> TKIP <input type="checkbox"/> AES | |
| WPA2暗号化方式 | <input type="checkbox"/> TKIP <input checked="" type="checkbox"/> AES | |
| 事前共有鍵 フォーマット | 文字列 (ASCII) で設定 (半角英数8~63文字) ▼ | |
| 事前共有鍵 | FOtOpgJ,\$kHC^Cz3 | |

設定を行う SSID : 「プライマリ SSID - MR-GM3_U」

ルーターA に接続するための「暗号モード」「事前共有鍵」の設定などを行ってください。

設定が終わりましたら、「設定保存」ボタンをクリックしてください。

設定は正常に保存されました。

変更を動作に反映させるためには、プロセスを再起動する必要があります。

今すぐ再起動を行いますか？

他の設定を行った後、再起動を行いますか？

| | |
|--------|-------|
| 今すぐ再起動 | 後で再起動 |
|--------|-------|

画面が切り替わったら「後で再起動」をクリックしてください。

無線LAN1 セキュリティ設定

無線LANのセキュリティ設定を行います。

| | | |
|--------------|---|------|
| 設定を行うSSID | リピーター クライアント - MRL_AP ▼ | 設定保存 |
| 暗号モード | WPA2 ▼ | |
| WPA2暗号化方式 | <input type="checkbox"/> TKIP <input checked="" type="checkbox"/> AES | |
| 事前共有鍵 フォーマット | 文字列 (ASCII) で設定 (半角英数8~63文字) ▼ | |
| 事前共有鍵 | <input type="text"/> | |

設定を行う SSID : 「リピーター クライアント - MRL-AP」

ルーターA がルーターB と接続するための設定になります。

ルーターB のセキュリティ設定に合わせて「暗号モード」「事前共有鍵」の設定等を行ってください。

設定が終わりましたら、「設定保存」ボタンをクリックしてください

設定は正常に保存されました。

変更を動作に反映させるためには、プロセスを再起動する必要があります。

今すぐ再起動を行いますか？

他の設定を行った後、再起動を行いますか？

| | |
|--------|-------|
| 今すぐ再起動 | 後で再起動 |
|--------|-------|

再起動が完了した後、「状態表示」画面の「リピーターインターフェース」の「状態」が「接続中」と表示され
ていれば無線 LAN アクセスポイントと接続完了です。

| 無線LAN 1 | |
|-----------------------|-------------------|
| 動作モード | アクセスポイント |
| 周波数 | 5 GHz (A+N+AC) |
| SSID | MR-GM3_U |
| チャンネル番号 | 124 |
| セキュリティ | WPA-Mixed |
| BSSID | 00:10:38:37:7c:fa |
| 接続中のクライアント数 | 0 |
| 無線LAN 1 リピーターインターフェース | |
| 動作モード | クライアント |
| SSID | MRL_AP |
| セキュリティ | WPA2 |
| BSSID | 00:10:38:37:92:fa |
| 状態 | 接続中 |